

**令和4(2022)年度
主要施策成果報告書**

猪名川上流広域ごみ処理施設組合

主要な施策の成果その他の予算執行の実績について報告

地方自治法第233条第5項の規定に基づく令和4年度における主要な施策の成果その他の予算執行の実績について提出します。

令和5年8月7日

猪名川上流広域ごみ処理施設組合

管理者 越田 謙治郎

1. 総括

(1) 一般廃棄物等の適正な処理

搬入されたごみ総量は5万6,289.56トンで、前年度比で1,995.50トン、3.4%の減であった。処理については、焼却炉2炉を合計504日間、熔融炉2炉を合計287日間稼働させた結果、焼却処理したのが5万605.65トン(前年度比△2,436.18トン、△4.6%)、熔融処理したのが4,707.20トン(△1,218.35トン、△20.6%)であった。

焼却施設及びリサイクルプラザからの搬出については、埋立て処理したもの(磁性灰、大塊物、陶磁器類)が1,147.38トン(+20.34トン、+1.8%)、資源化したもの(熔融スラグ、プラスチック製容器包装、ペットボトル、缶・ビン、紙類など)が8,239.91トン(△658.05トン、△7.4%)であった。

(2) 循環型社会の構築への寄与

啓発施設「ゆめほたる」の第4期指定管理期間(令和4～10年度)が始まった。

指定管理者は「学ぶ・知る機会の提供」や「地域と連携」「広める活動」などを引き続き推進・展開するとともに、新たに構成市町の教育委員会との連携強化に取り組み、トライやる・ウィークの受け入れや小学校に出向いての環境学習などを行った。また、広報・情報発信活動について、組合とゆめほたるのホームページをリニューアルするとともにInstagramによる情報発信を始め、さらに、令和5年度からの広報「森の泉」の紙面刷新に向けた準備作業を行った。

さらに、敷地内の里山林について、「国崎クリーンセンター 里山林維持管理活用方針」に基づき、林内での体験学習コンテンツを工夫して提供するなど、自然環境の学習の場としての活用に努めた。

2. 主な予算の執行実績

歳入

① (款)1分担金及び負担金 (項)1 負担金

- 1市3町からの負担金24億842万6,000円を収入した。内訳は次のとおりである。

川西市	16億7,509万9,000円
猪名川町	3億7,009万7,000円
豊能町	2億2,681万4,000円
能勢町	1億3,641万6,000円

② (款)2使用料及び手数料 (項)1使用料

- 啓発施設(ゆめほたる)等の貸室や多目的広場の使用料として53万2,100円を収入した。各室等の使用実績は次のとおりである。

研修室	軽作業室	制作工房	修理工房	講座室	視聴覚室	多目的広場
4件	1件	5件	15件	24件	17件	75件

③ (款)2使用料及び手数料 (項)2手数料

- ごみ処理手数料として、許可業者分で 1 億 4,443 万 6,600 円、直接持ち込み分として 2,850 万 3,700 円を収入した。

④ (款)5諸収入 (項)2雑入

- 搬入されたごみに含まれる有価物 4,911.13トンを売却して 1 億 3,197 万 4,000 円を収入した。
- ごみ処理で発生した熱を利用して発電した電力 2,261 万 3,920kWhのうち 918 万 2,580kWhを売却して 1 億 6,217 万 5,428 円を収入した。
- 敷地内の駐車場を組合職員及び委託業者が利用した駐車料金として 208 万 2,400 円を収入した。
- ペットボトル 464.62 トンを容器包装リサイクル協会を通じて再商品化し、有償拠出金 4,388 万 5,847 円を収入した。

歳出

① (款)1議会費 (項)1議会費 (目)1議会費

02 議会運営事業

- 定例会を2回(8月、2月)、臨時会を1回(11月)、議員総会を3回(定例会及び臨時会と同日)開催し、議案等を審議に付した。また、それぞれの議事録を作成した。

② (款)2総務費 (項)1総務管理費 (目)1一般管理費

02 総務管理事業

- 広報紙「森の泉」について、予算・決算などの財務状況や施設の維持管理状況、環境影響調査結果や啓発事業に係るイベントなどの各種情報を記事にして年 6 回発行し、1市3町の全戸に配布するとともに、音訳 CD および点字広報を作成した。
- 予算の編成及び決算の調整など、財務会計事務の適正な執行に努めた。

03 環境保全委員会事業

- 環境保全委員会を4回開催し、施設稼働に伴う環境影響調査の結果等について報告し、専門的な見地及び住民からの視点に基づく質疑に応答し、施設運転に対する信頼の確保に努めた。

③ (款)2総務費 (項)1総務管理費 (目)3緑地等維持管理費

01 緑地等維持管理事業

- 自然学習ゾーン内の獣害防止柵を修繕した。
- 里山林内の枯れ木や危険木を伐採して安全の確保に努めた。
- 自然学習ゾーン内に試験植栽したミツマタについて、指定管理者とともに経過観察を継続するとともに、植栽の維持管理に取り組んだ。

④ (款)3衛生費 (項)1清掃費 (目)1施設管理費

02 施設管理事業

- 「猪名川上流広域ごみ処理施設組合が設置するごみ処理施設に係る環境影響調査の実施に関する条例」に基づき、当センターから排出される窒素酸化物やダイオキシン類などの排出ガス及び熔融飛灰や焼却灰(大塊物・磁性灰)などの排出源分析業務と、当センター周辺の魚類や植生などの環境影響調査業務を、専門業者に委託して行った。
- 焼却施設等の運用状況を適切にモニタリングするため、技術支援業務を専門業者に委託し、施設の運転状況や機器のメンテナンスに関し専門的な立場からの技術支援を得てチェックするとともに、組合に対する助言等により施設組合職員の管理運営技術の向上に努めた。
- 持ち込みごみの予約受付業務のため引き続き、会計年度任用職員を任用して電話での申し込みに対応するとともに、インターネットによる受付システムを運用して24時間予約が行える態勢とした。

⑤ (款)3衛生費 (項)1清掃費 (目)2ごみ処理費

01 ごみ処理事業

- 新たに第3期(令和4～7年度)焼却施設等管理運営業務の包括委託を開始し、当センターの性能を発揮させ、将来に渡ってより安全で安定的かつ効率的な管理運営を行った。
- 処理に伴い発生した焼却灰等を最終処分(埋立て)するとともに、熔融飛灰を山元還元して非鉄金属を回収・再使用するなど、再資源化に努めた。

⑥ (款)3衛生費 (項)1清掃費 (目)3啓発費

02 啓発事業

- 啓発施設「ゆめほたる」の運営を、前年度に選定した指定管理事業者に委託(令和4～10年度)し、ごみ減量及びリサイクルに関する情報を発信するとともに、自然や環境問題についての学習機会を提供するなど、循環型社会の構築に努めた。
- 前年度の指定管理業務の実施状況やその効果、財務上状況について、外部委員による評価を行った。

⑦ (款)4公債費 (項)1公債費 (目)1元金／2利子

01 起債管理事業…元金／利子

- 財政融資資金は元金のうち5億9,944万7,881円を償還し、年度末における現在高は1億9,571万950円となった。償還に係る利子は938万2,139円であった。